

**10月から武蔵野市ホームページで、
行政情報をオープンデータとして公開していきます。**

市が保有する情報をオープンデータとして公開し、行政の透明性・信頼性の向上、公的データの共有および協働による地域課題の解決や情報公開の総合的な推進を目的として、10月より、市公式ホームページにおいて、オープンデータカタログサイトを公開し、順次公開をすすめていきます。

1 公開するデータ

「広く民間での二次利用を促すためのデータ」として、平成30年度は

①市勢統計

②地域生活環境指標

のデータのうち、準備ができたものから順次公開していきます。

2 オープンデータカタログサイト公開日

10月1日（月）より

3 公開データ形式

公開データ方式としては大きく分けて5段階ありますが、武蔵野市オープンデータでは3段階での公開を想定しています。

①オープンに利用できるフォーマットでのデータ公開（CSV、XML、シェープファイルなど）

②コンピュータでの処理が可能なデータ公開（XLSX DOCXなど）

③従来のデータ公開（PDF、JPEGなど）

※公開は、特定のアプリケーションに依存しない形式である①による公開を目指しますが、それ以外の形式でも公開可能である場合は対象とします。

4 その他

オープンデータカタログサイトを公開するにあたり、市ではオープンデータに関する基本方針を定め、その方向性を示すとともに、「オープンデータ利用規約」により公開しているオープンデータの利用に関する事項も定めて運用を行っていきます。